

いのちのバトンタッチ ～命の尊さを考えよう～

先月の5月10日は母の日でしたが、今週末の6月21日は父の日となります。普段は恥ずかしくて言えていない「ありがとう」の感謝の言葉をかけるには、チャンスの日となります。あなたが生まれてきたときのことを、家族に聞いたことがありますか？例えば、「あなたはお母さんを氣遣ってすぐに生まれてきたよ」「体重が少なく保育器に入っていたんだよ」とか、「元気な泣き声を出さず、心配したよ」「へその緒がからまって、生まれてくるのに時間がかかったんだよ」などと言われた人もいでしょう。皆さんの命、掛け替えのない命が生まれてくるというのは、命がけで、尊いことなのです。そして、家族みんなで「かわいい、かわいい」と喜んでくれたはずです。

そうして、みなさんは、お父さんとお母さんから、いのちのバトンタッチをしているのです。私たちはみんな、両親から、そのまた両親から、いのちのバトンを受けて、今ここにいます。

詩人の相田みつをさんがつくった「自分の番 いのちのバトン」という詩を紹介します。

父と母で二人
父と母の両親で四人
そのまた両親で八人
こうしてかぞえていくと
十代前で千二十四人
二十年代前では・・・？
なんと百万人を超すんです
過去無量の
いのちのバトンを受けついで
いまここに
自分の番を生きている
それがあなたのいのちです
それがわたしのいのちです

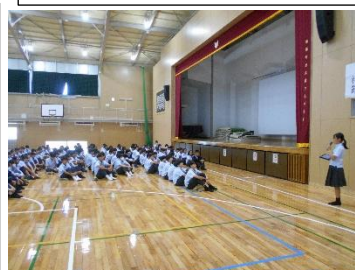


多くの人から受け継いでいる、たった一つしかない、自分の命を大切にしてください。いつでも、不安や困ったことがあれば、友だちや家族、先生に相談してください。誰かに話すことを大事にしてください。

6月15日全校集会の様子



中体連選手推戴式の様子



菊池郡市中体連夏季大会選手推戴式 がんばれ武中！

6月16日(火)に、菊池郡市中体連夏季大会の選手推戴式が行われました。生徒会からの激励の言葉がとても素晴らしかったので紹介し、選手へのエールといたします。

いよいよ今週末から、中学校総合体育大会が開催されます。中体連に出場される皆さん、これまでの中学校生活の中で皆さんは放課後や休日、日々部活動に励んできたことと思います。その中で苦しさや、気持ちが折れそうになったこともあったかもしれません。中には、辞めたいと思った人がいるかもしれません。それでも諦めずに努力を重ね、この中体連大会の舞台に立つことが出来るのは、本当に素晴らしいことです。その日々の積み重ねを自信に、武蔵ヶ丘中学校の代表として、他校のライバルたちに堂々と挑んできてほしいと思っています。特に3年生の皆さんにとっては、これが最後の中体連となります。これまでの全てを出し切り、悔いのない試合をしてください。勿論、勝ち負けだけが全てではありません。スポーツマンシップを大切に、なかまを思いやり、感謝と敬意の気持ちを忘れずに、正々堂々と、そして何より楽しく戦ってきてください。皆さん一人ひとりのその頑張りや、素晴らしい大会をつくりあげます。中学校生活の集大成として、最高に輝く瞬間を迎えてください！ 生徒一同心より応援しています。 生徒代表 工藤 瑚子さん

保護者の皆様へ

郡市中体連夏季大会の応援、送迎等大変お世話になります。会場によっては十分な台数を確保できない場合もございます。くれぐれも保護者・応援者の不法駐車等がございませんようお願いいたします。

